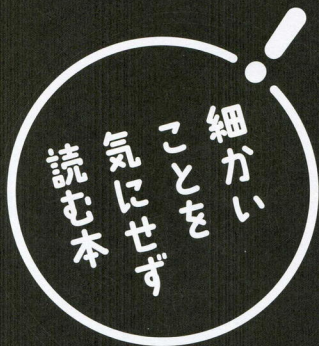




晚餐

21
グラムの
の

*nijumichi no rama
no banjapan*



※ 鍾離が魍を食べる話です。
魍が死んでいる描写がありますが死ネタじゃないです。

※ ver2.7 魔神任務間章第2幕「陰路怪跡」のあとの時系列です。

※ ver3.4以前に考えたプロットです。

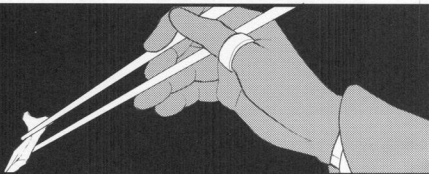
Any similarity to actual persons, works, or production companies is unintentional.

Viewers must be 18 years of age or older to view content.

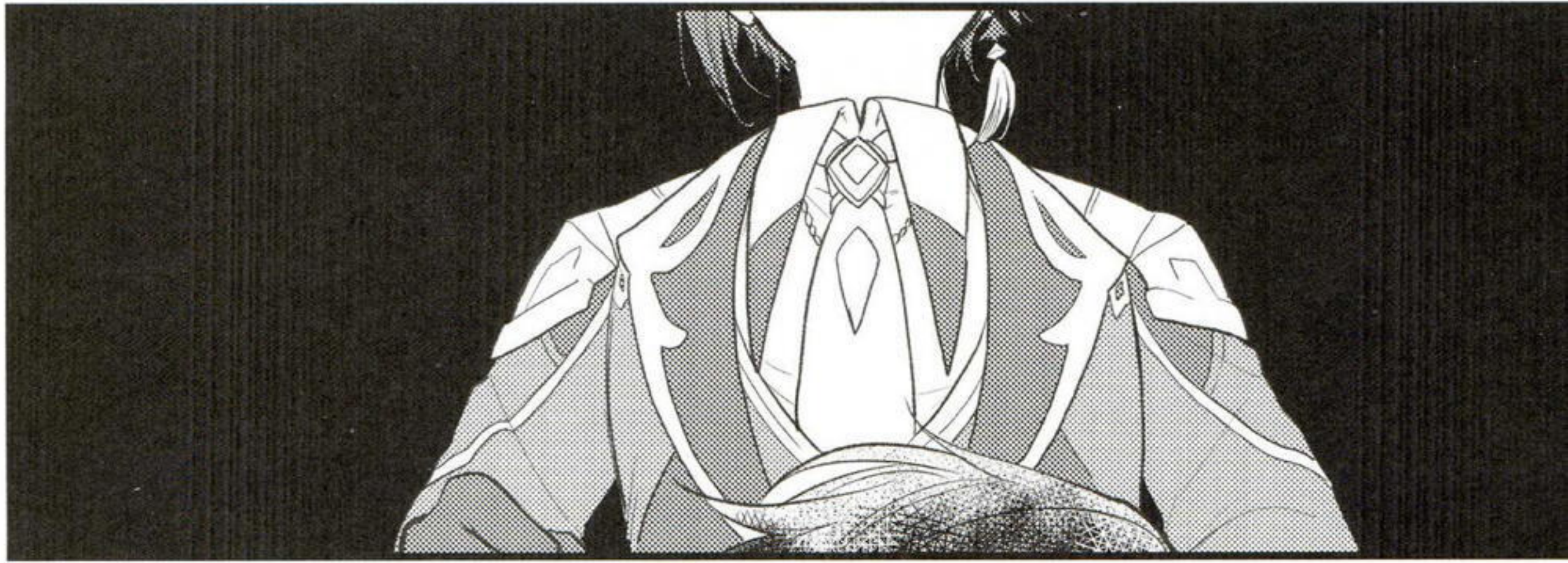
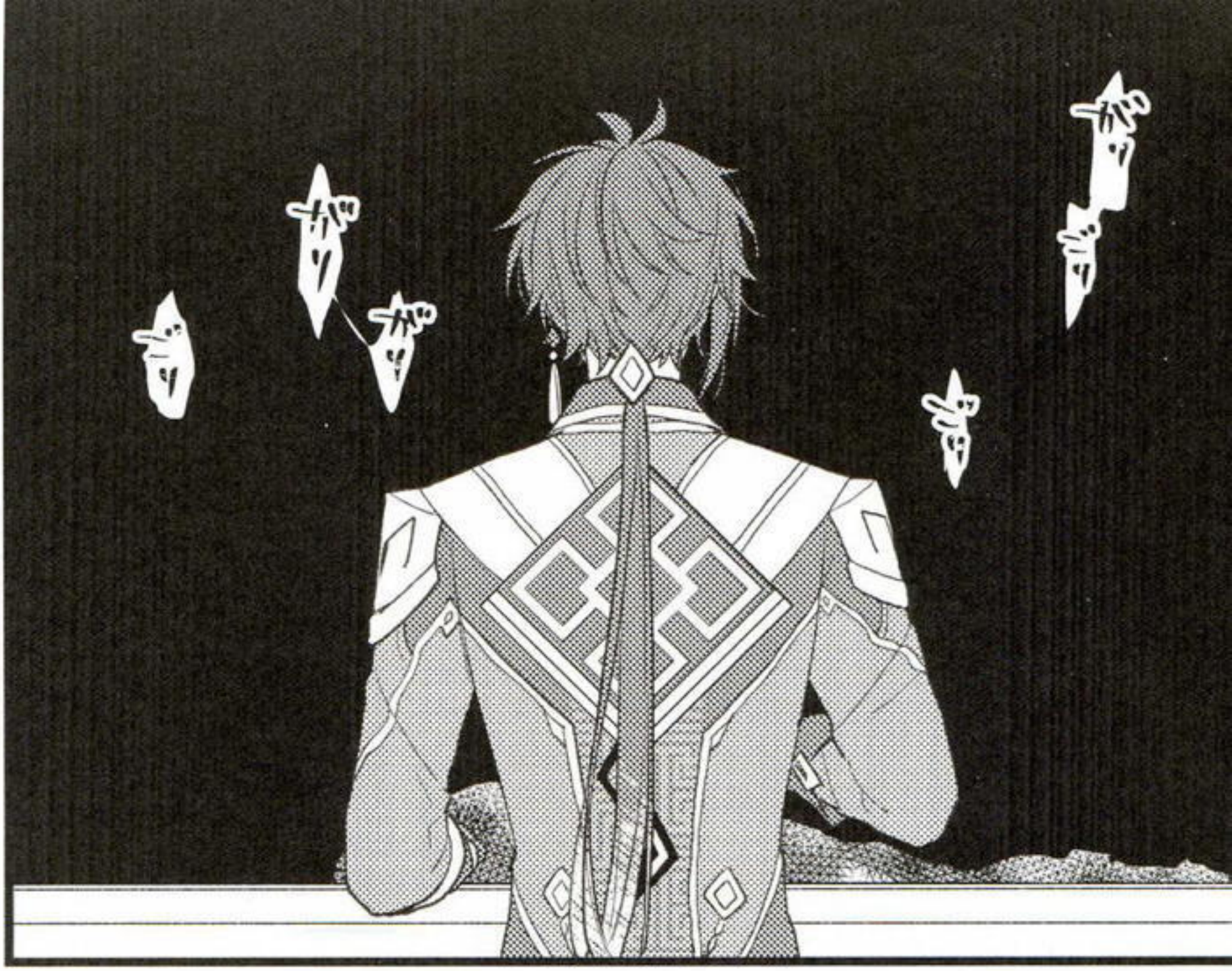
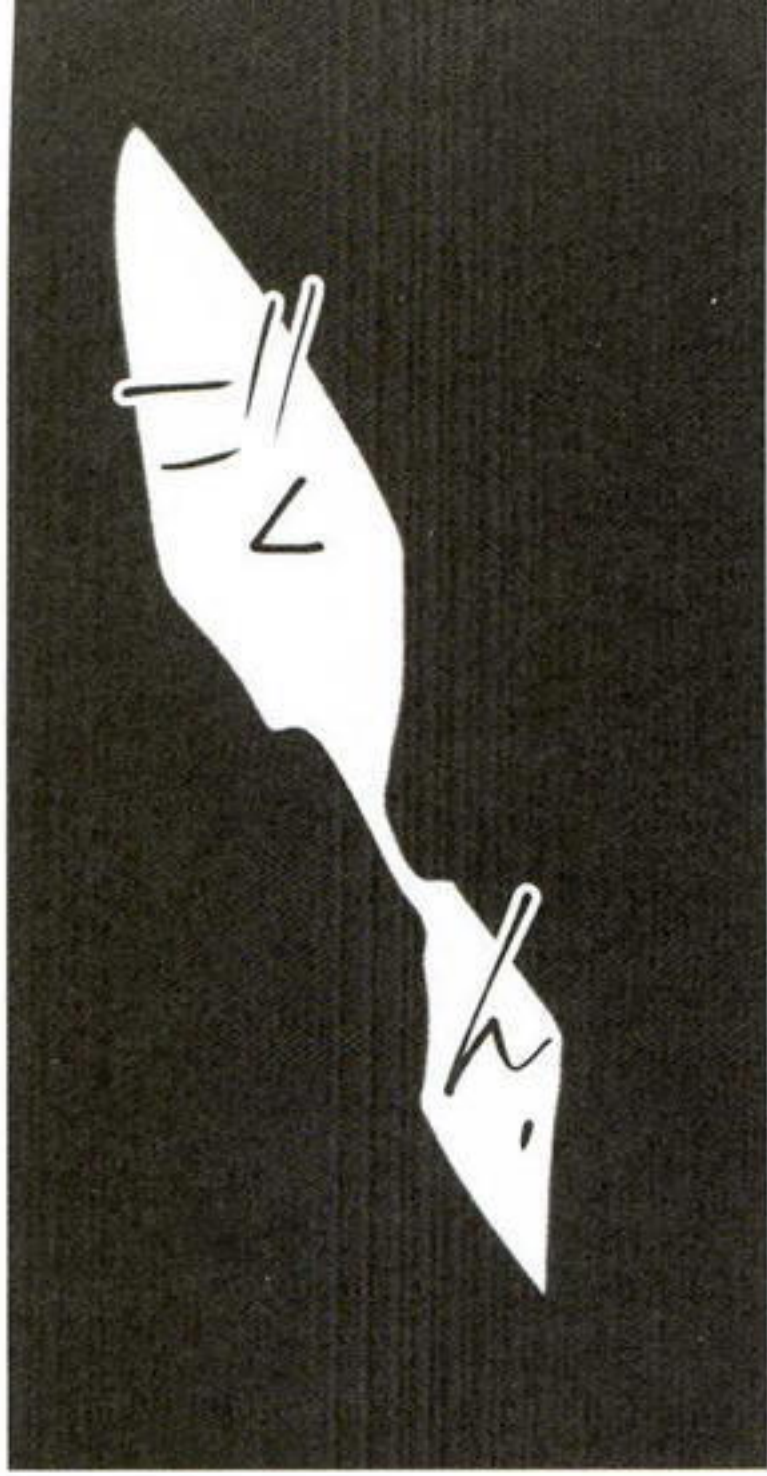
Unauthorized reprinting, reproduction, replication, uploading to internet sites (social media, net auction sites, etc.), or resale to secondhand bookstores is prohibited.

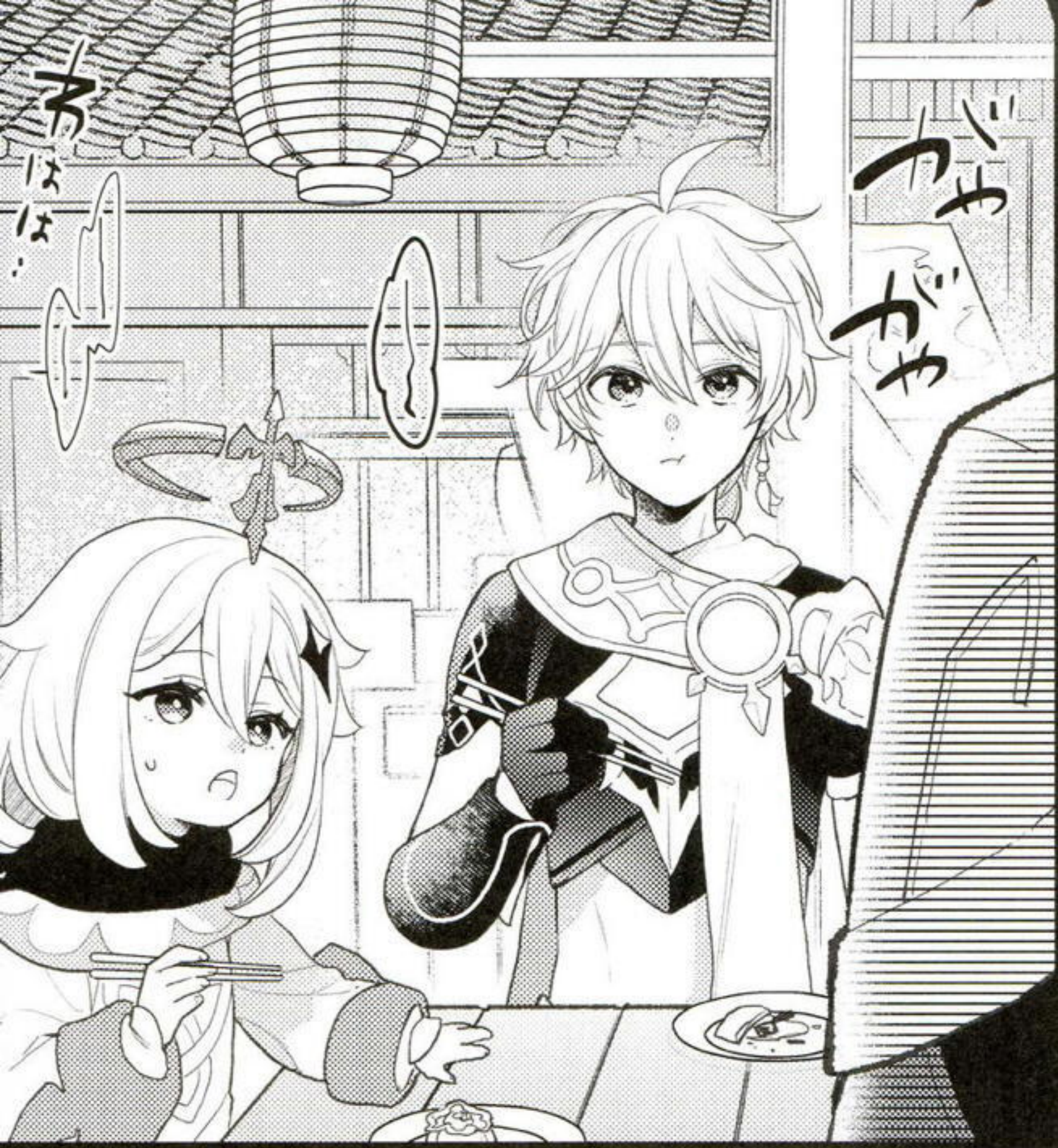
毎夜
同じ夢を視る。

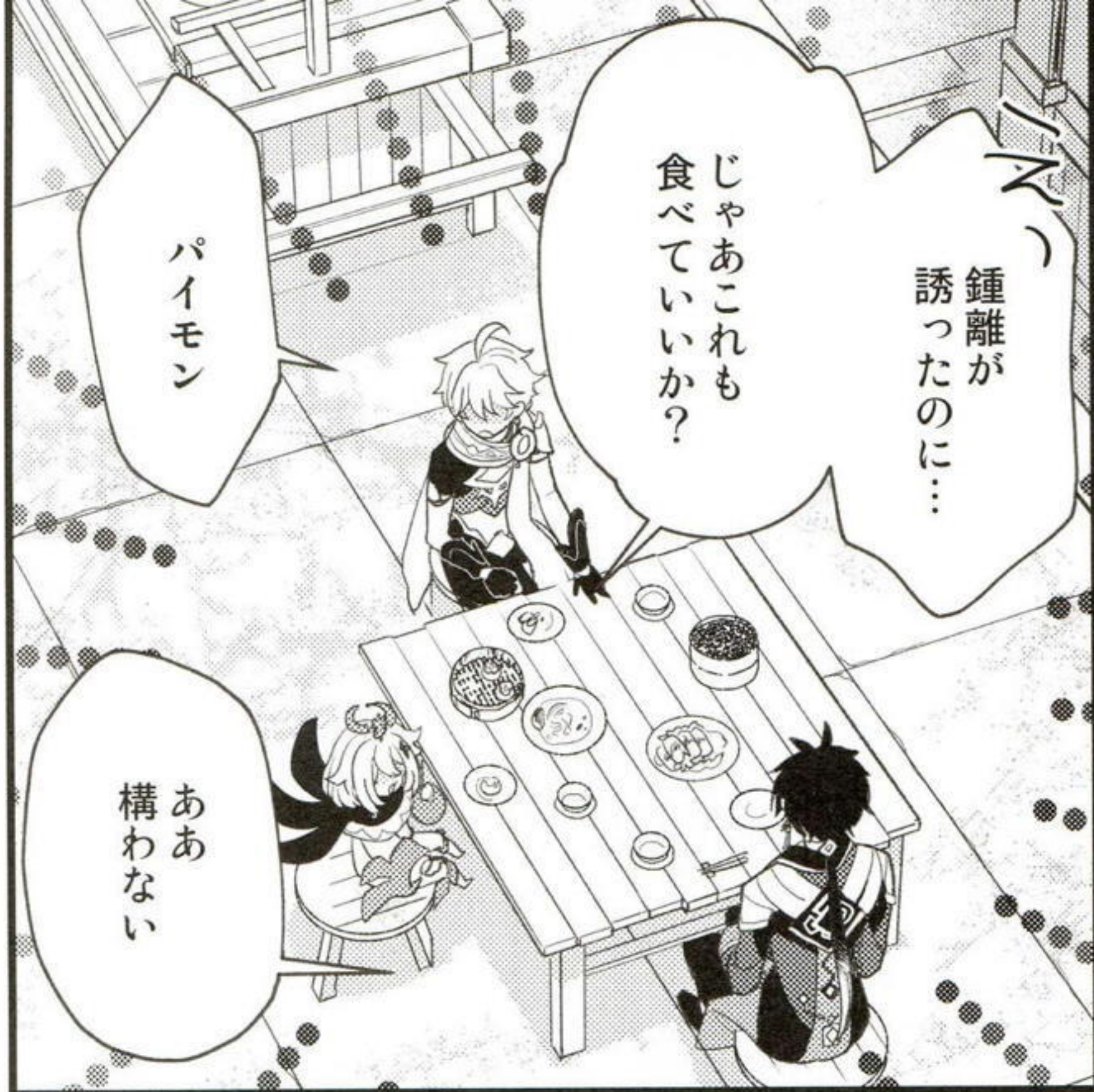




!!!







パイモン

鍾離が誘ったのに…
じゃあこれも食べていいか？

ああ構わない



あまり腹が空いていなくてな



夢？

オイラも御馳走を食べる夢はよくみるぞ！

けど実際に食べているわけじゃないから起きたら腹ぺこで…



どうやら夢の中で食べすぎてしまったようだ



はっ

もしかして
夢でお腹いっぱいになる
仙術とかがあるのか!?

何それ…

パイモンを
見ているだけで
お腹いっぱいにな
ることはあるけどね

夢を見る

いつから
見ていたのか

それを
思い出すより
先に浮かぶのは
あの食卓の光景だ

俺は毎夜
ゆっくりと
時間をかけて

夢の中で
魍を食べている。



帝君

今日は
どうされたの
ですか



あ
て…

鍾離様

えっと



もし誤りございません
とんだ思い違いを
御前を
失礼致しました
我はこれで

お前に
会いに来たのは
合っている

ああいや
違うんだ



驚いた
まさかお前に
会えるとは

!

ただ
俺が呼ぶより
先に居ることが
珍しかったから

それは…

今朝 瑤光の浜で
空とパイモンに
会いました

その際
鍾離様のご様子が
おかしかったと
聞いて…

本来であれば
己が向かうべきでは
ありませんが

用があるわけでも
ないのに
…ご迷惑かと…
考えている間に

結局
貴方に足を
運ばせて
しまいました

…待っていて
くれたのか？

俺が来たくて
来たんだ

お前も
俺に会いたければ
いつでも来ると良い

友に会えて
喜ばないことなど
ないだろう？

…わかりました

それで…
鍾離様は
こういったご用件で

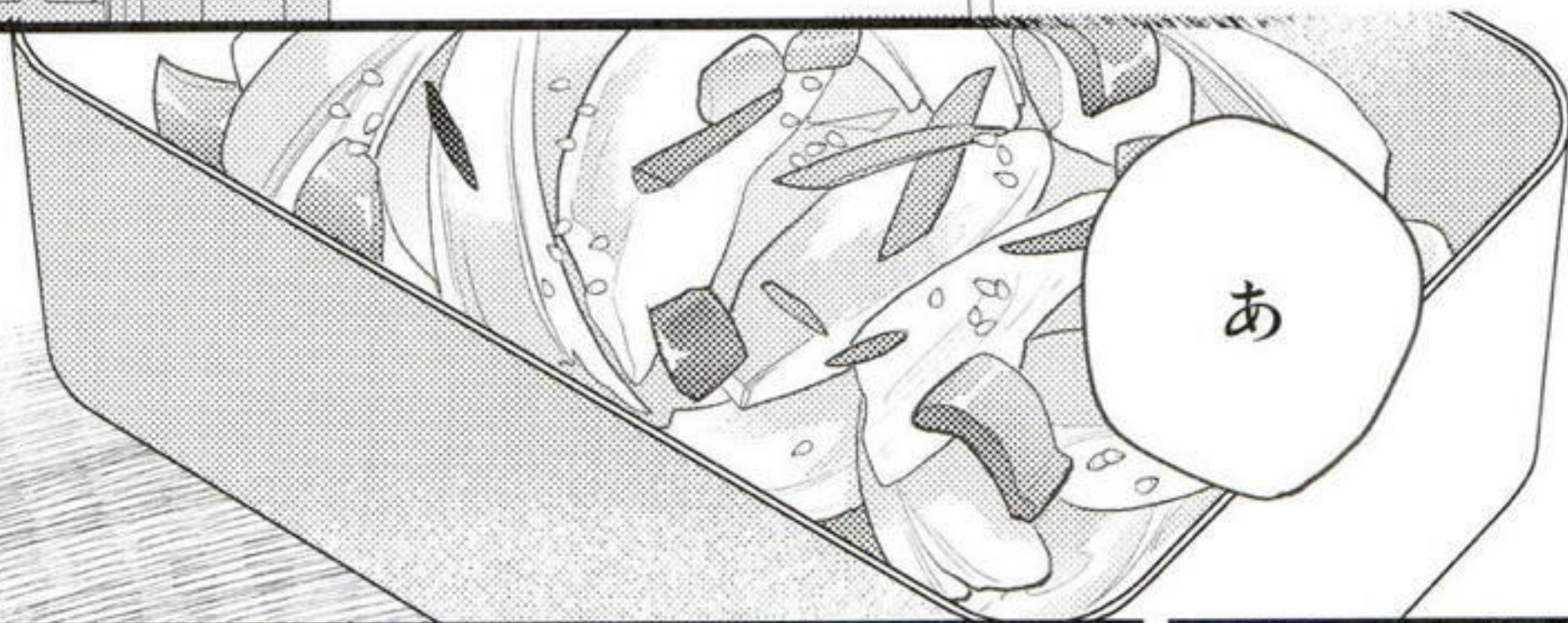
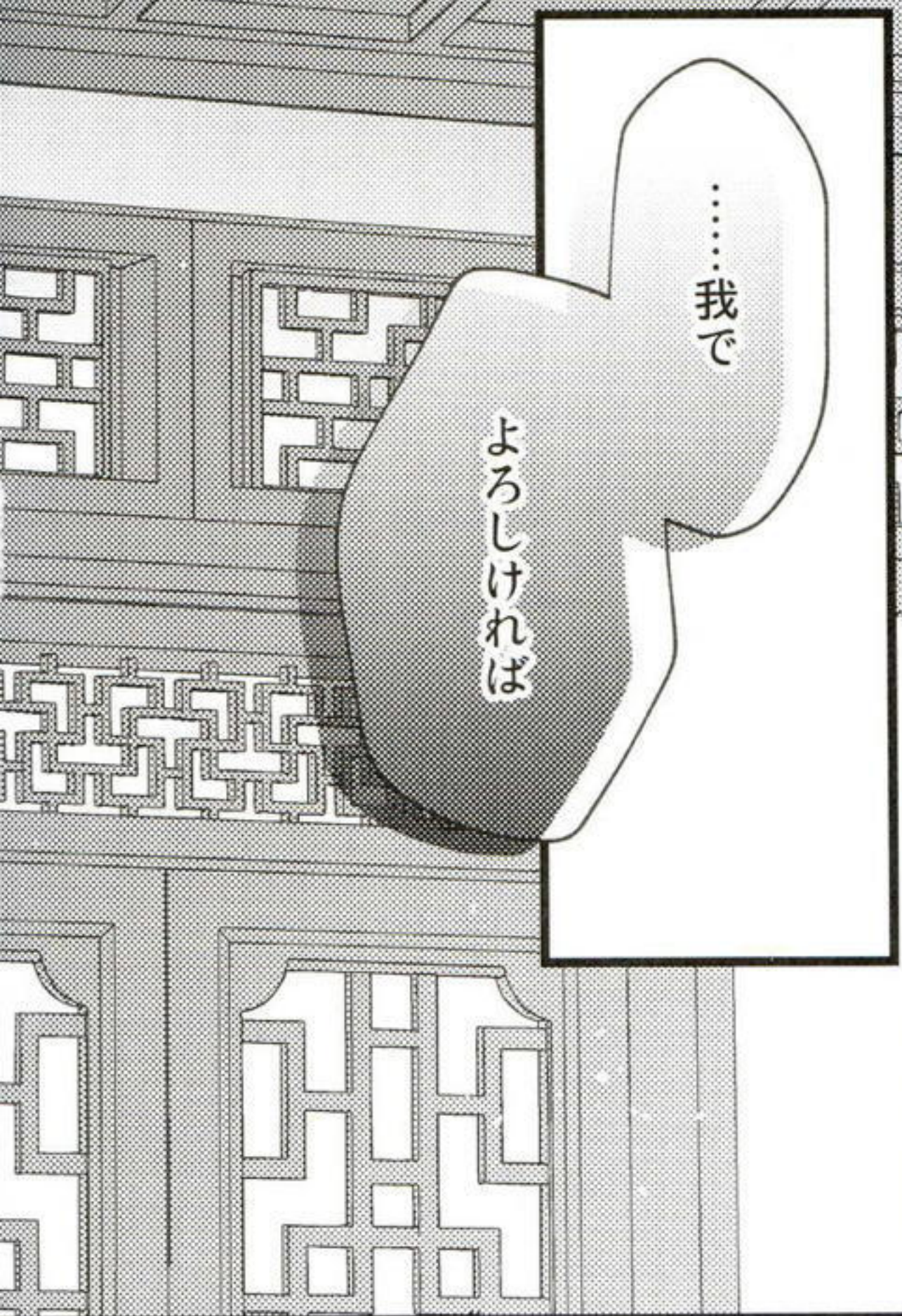
ああそうだ

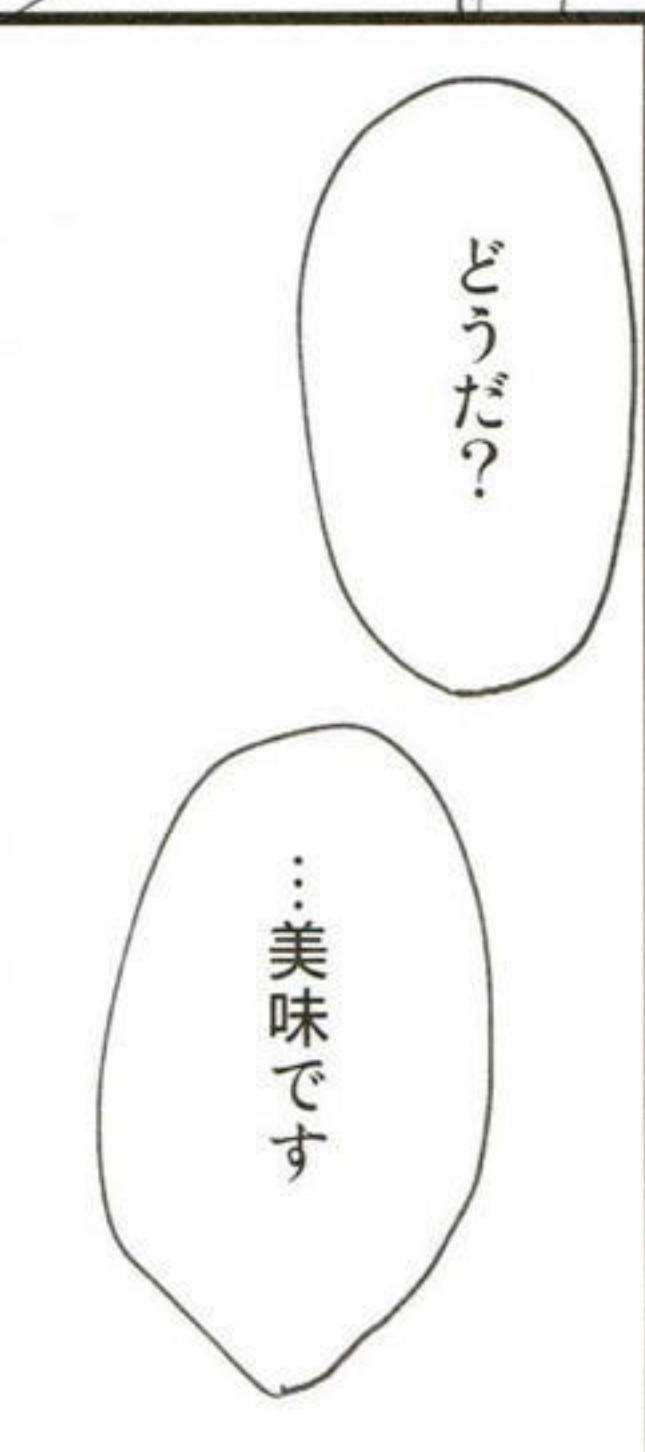
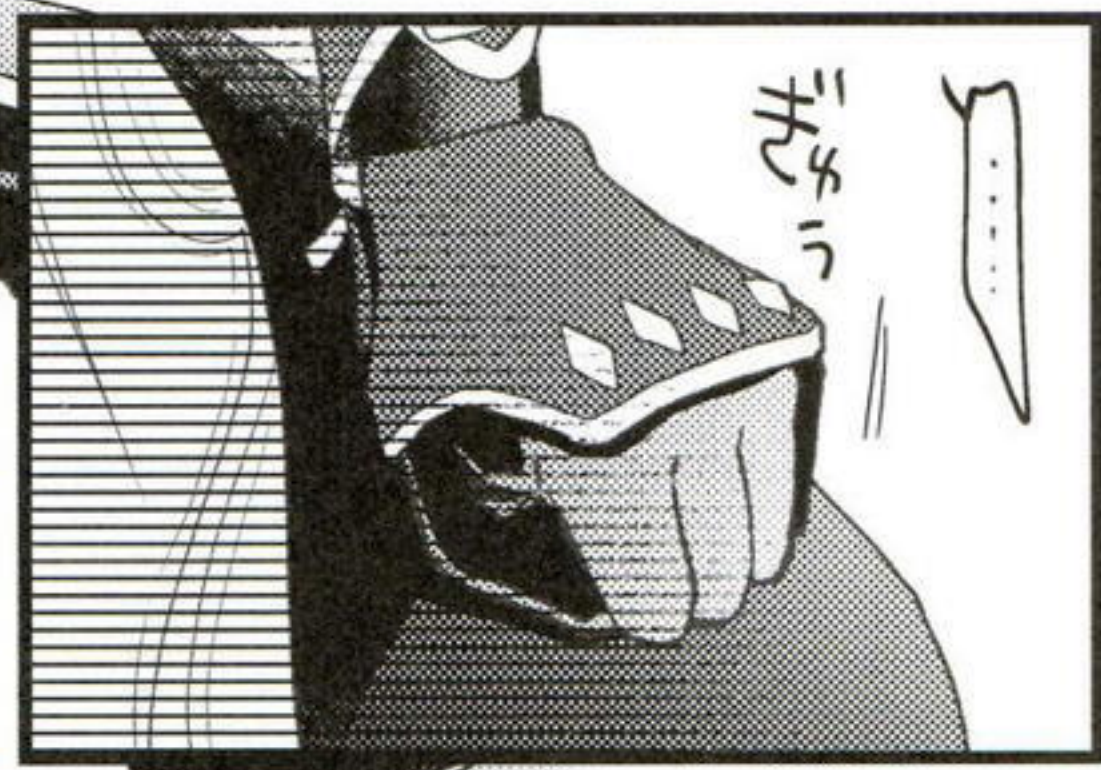
万民堂で手土産を
貰った

薄味が
好みの人の為の料理を
研究しているらしく
感想を聞かせて欲しい
とのことだ

それならば
お前が適任だと
思ってたな

えっ
あ味見のために
わざわざ…？











俺は食わずとも
朽ちはしないぞ

!

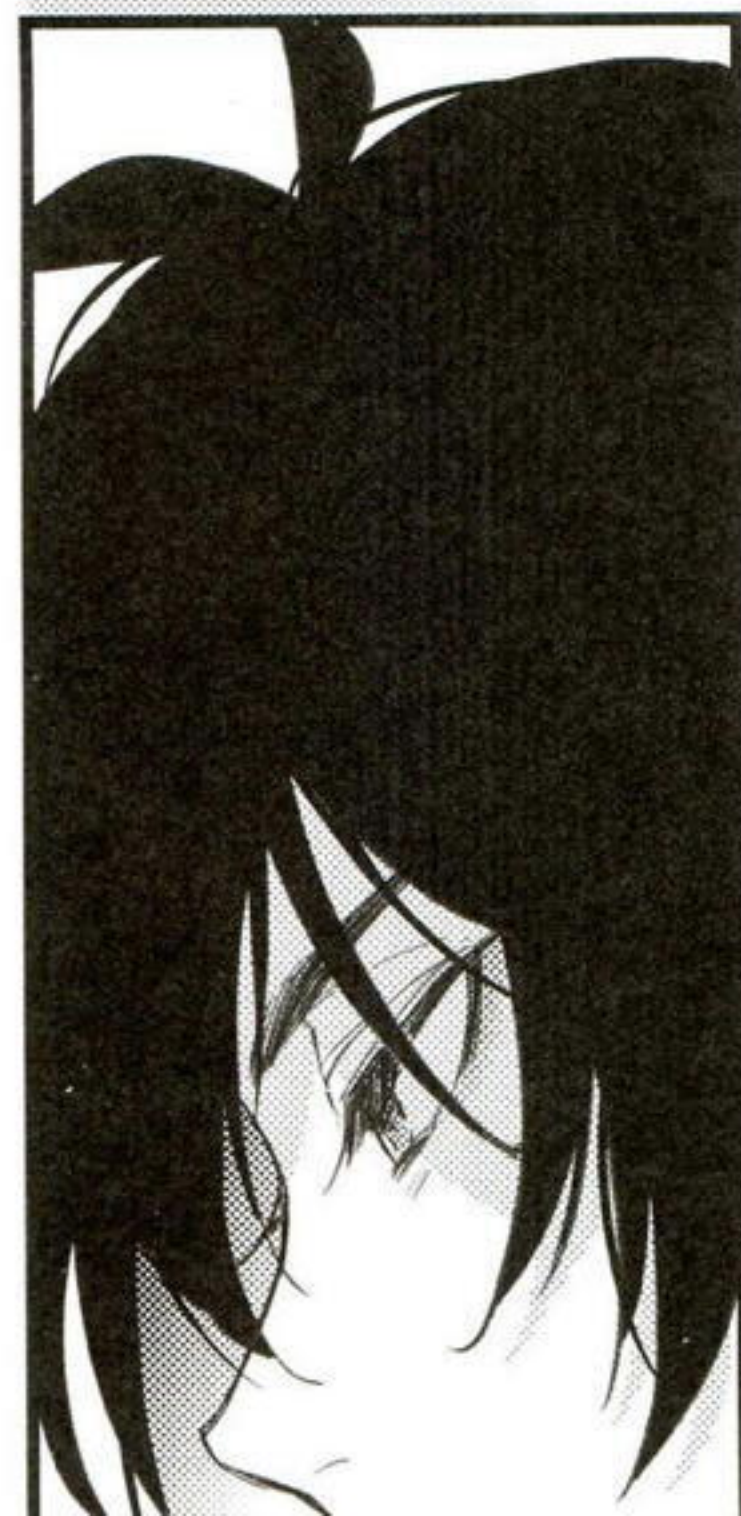
ん



分かって
おります

……ですが
貴方は

食を
愉しまれる
御方でしたので



何か
心配事でも
あるのかと



別に
言いたくない
わけじゃない

そんな
顔をするな

ガッ



差し出がましいことを
申しました

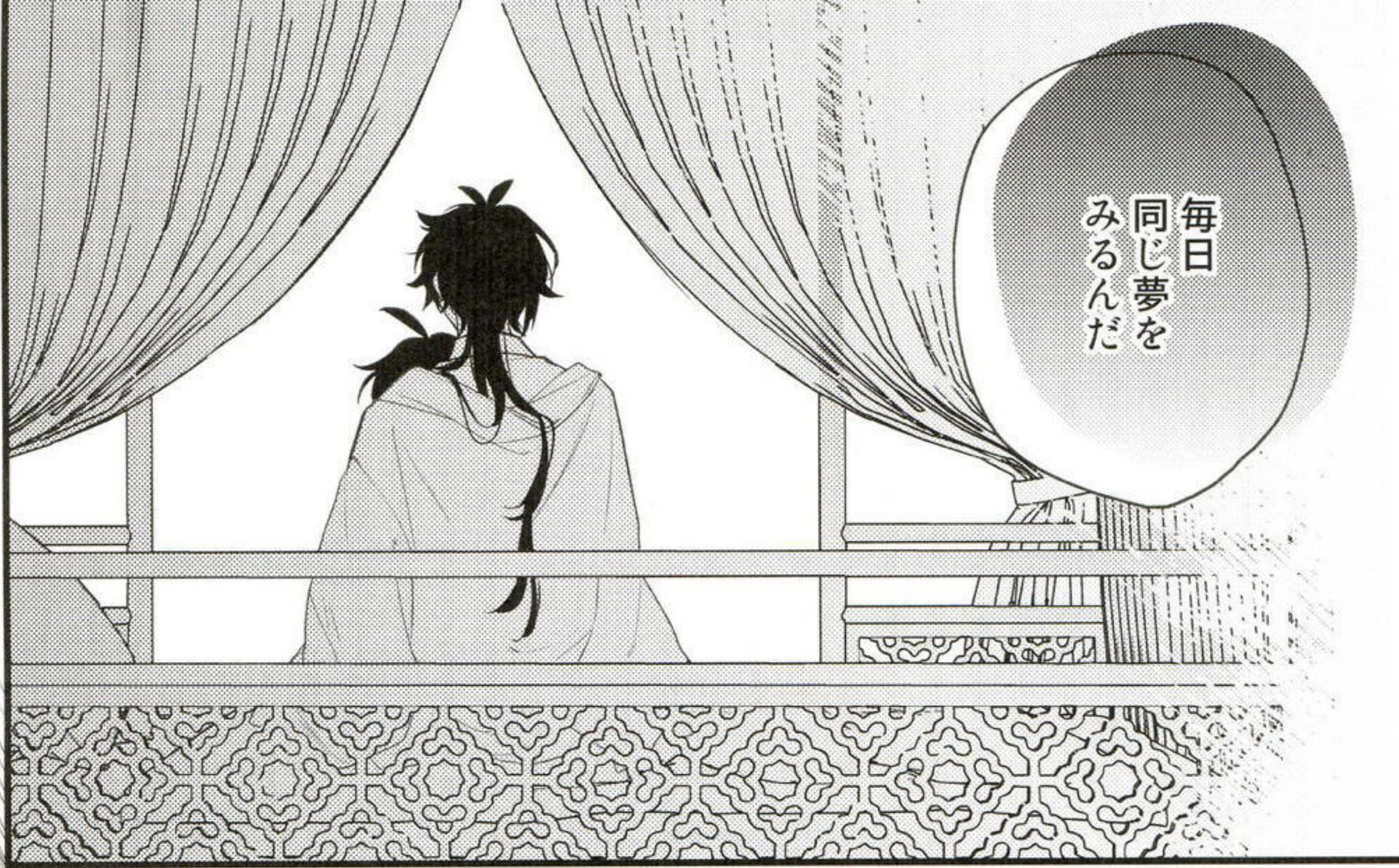
お赦してください



お前が
気にかけてくれて
嬉しく思っている



おいで



毎日
同じ夢を
みるんだ




——鳥が居た

その姿はまさに
秀麗であった



仔細は
異なるが

…同じ？




毛並みは
艶やかに潤い

囀る声は
透き通るようで
心地よい

空を羽ばたく様は
気高く

何処へいこうとも
必ず手元に
帰ってくる



何より
情もあった

大切に愛でて

優しくしたいと
思っていた

だがその鳥は
死んでしまった





先ずはその
潤った羽を



舌で
質感を味わいながら
二日かけて食べた



次は
血肉を

しなやかな弾力を
感じながら
三日かけて食べた



最後は骨を

噛み砕いて
飲み込んだ



俺は供養をした後

その鳥を食べる
ことにした



.....



という夢だ



骨があと数欠片
残っている

おそらく
今夜すべてを
食べ終えるのだろう



.....

それは本当に

只の夢なのですか

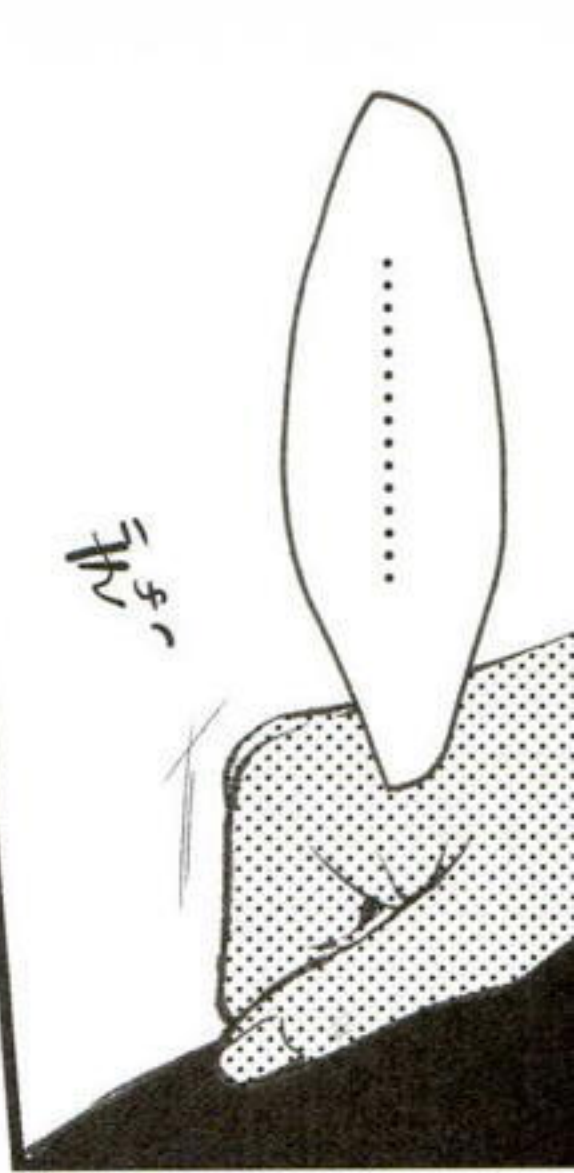
何か
憑いているか？

：我には
感じられません

お前に
分かなければ
何も無いのだろう



その鳥は
幸福なのでしょう

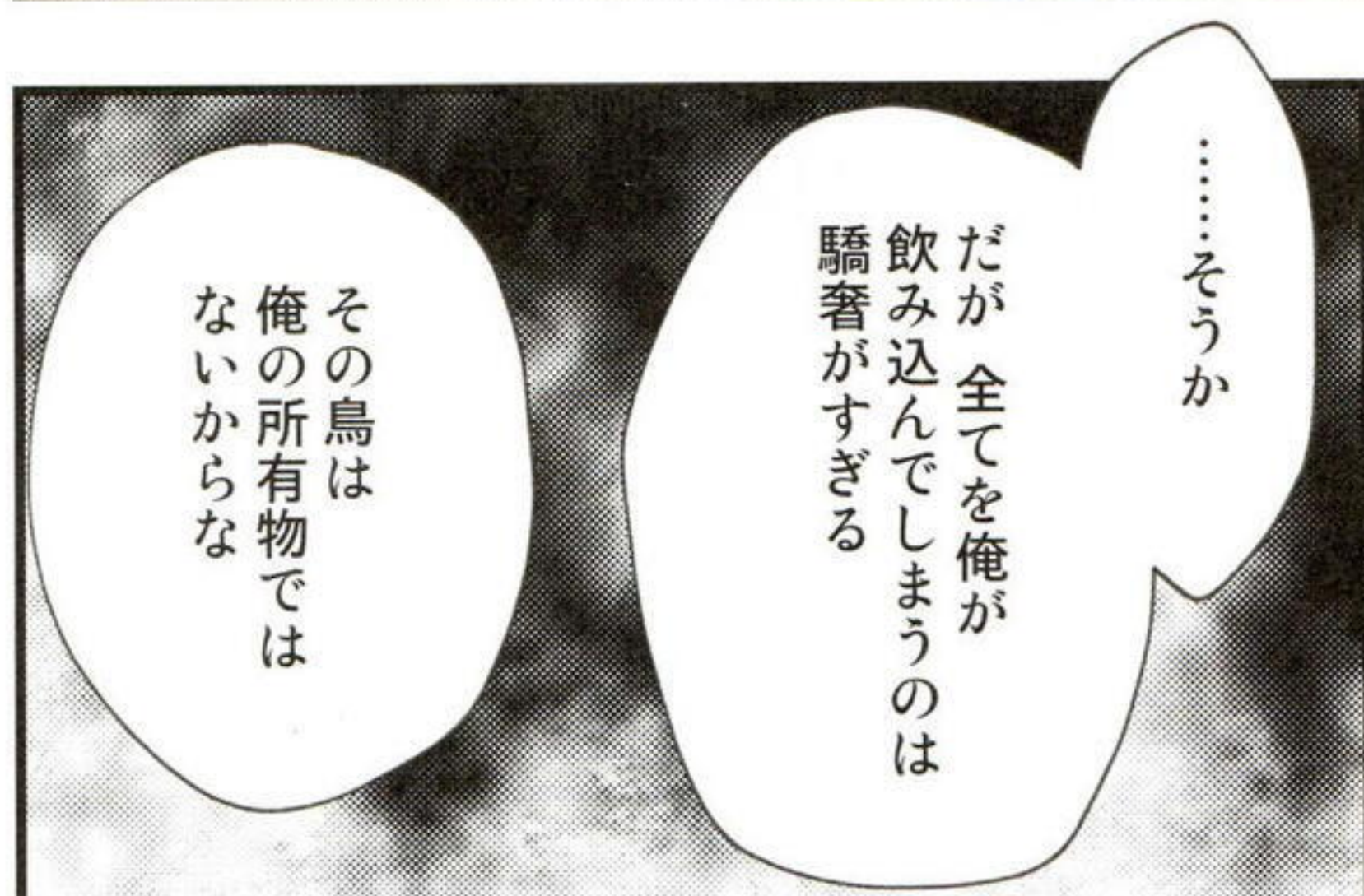


……



貴方の血肉に
なれたのだから

貴方に
見取られて



……そうか

だが全てを俺が
飲み込んでしまうのは
驕奢がすぎる

その鳥は
俺の所有物では
ないからな







喪失の夢をみる俺に
胸を痛めているだろうか
寄り添って欲しくて
いるのだろうか

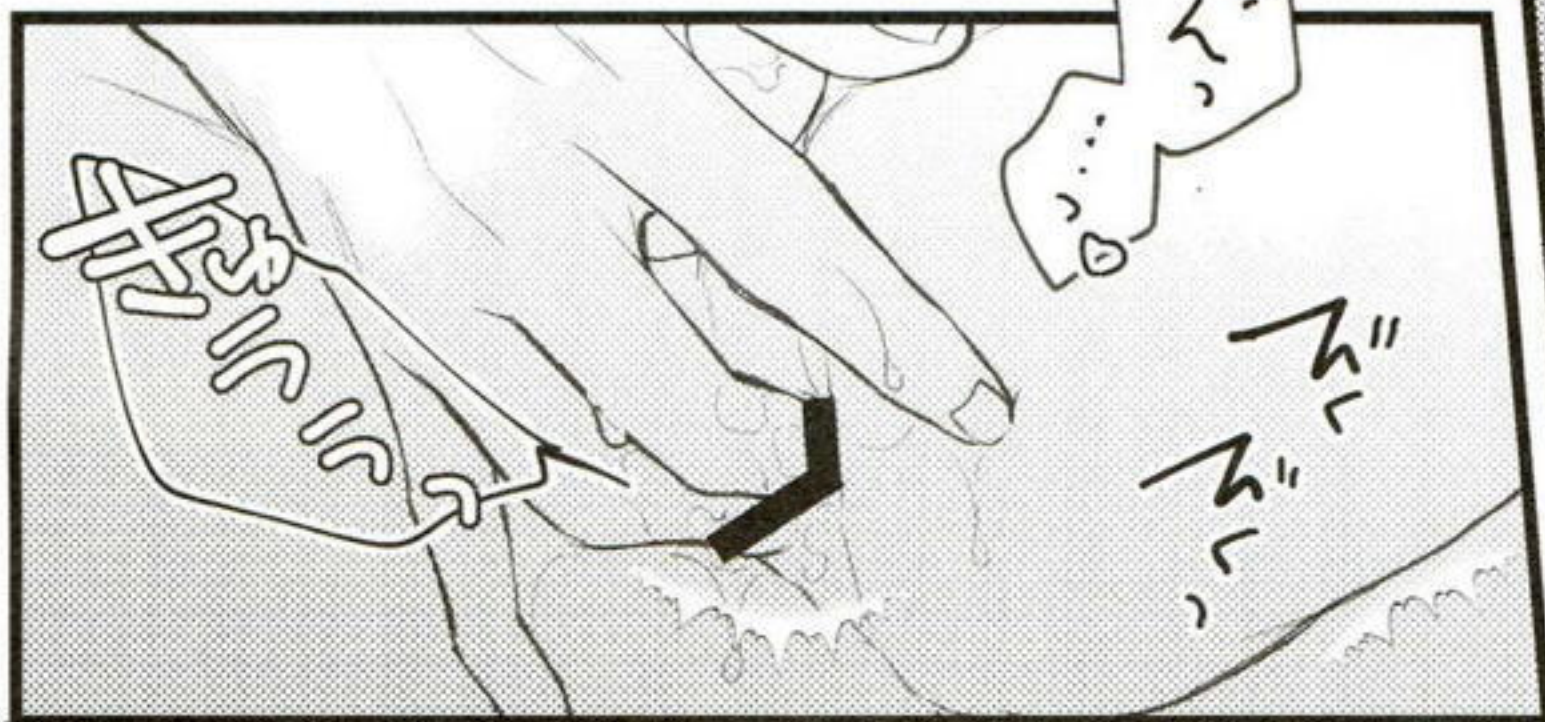
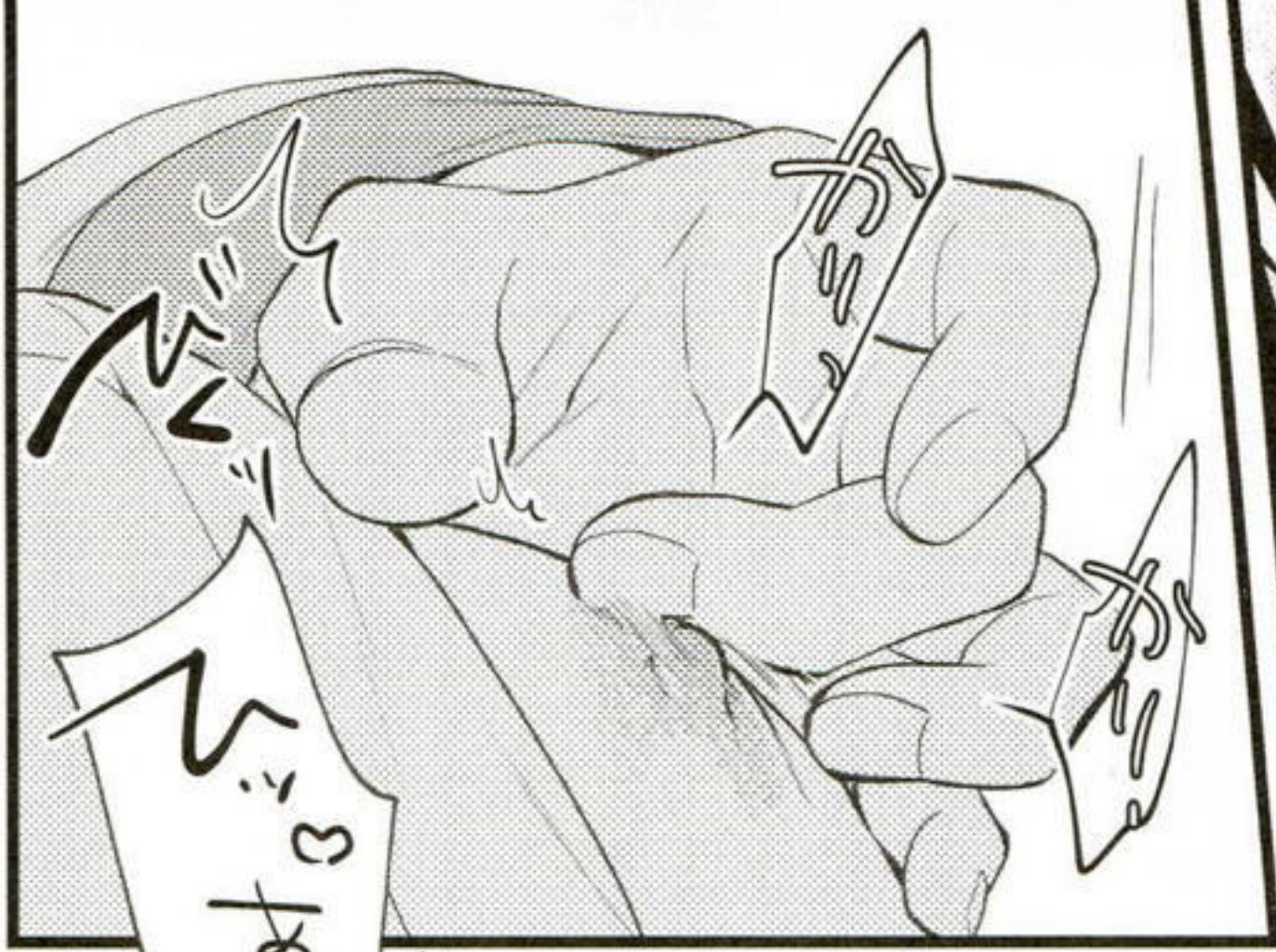


可愛いな

小ちゃくつ

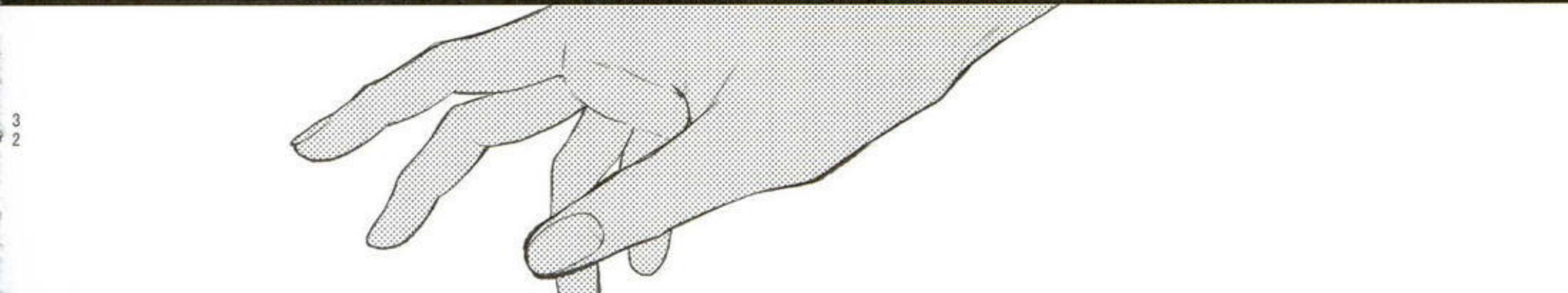
まだ柔さを
残す躰

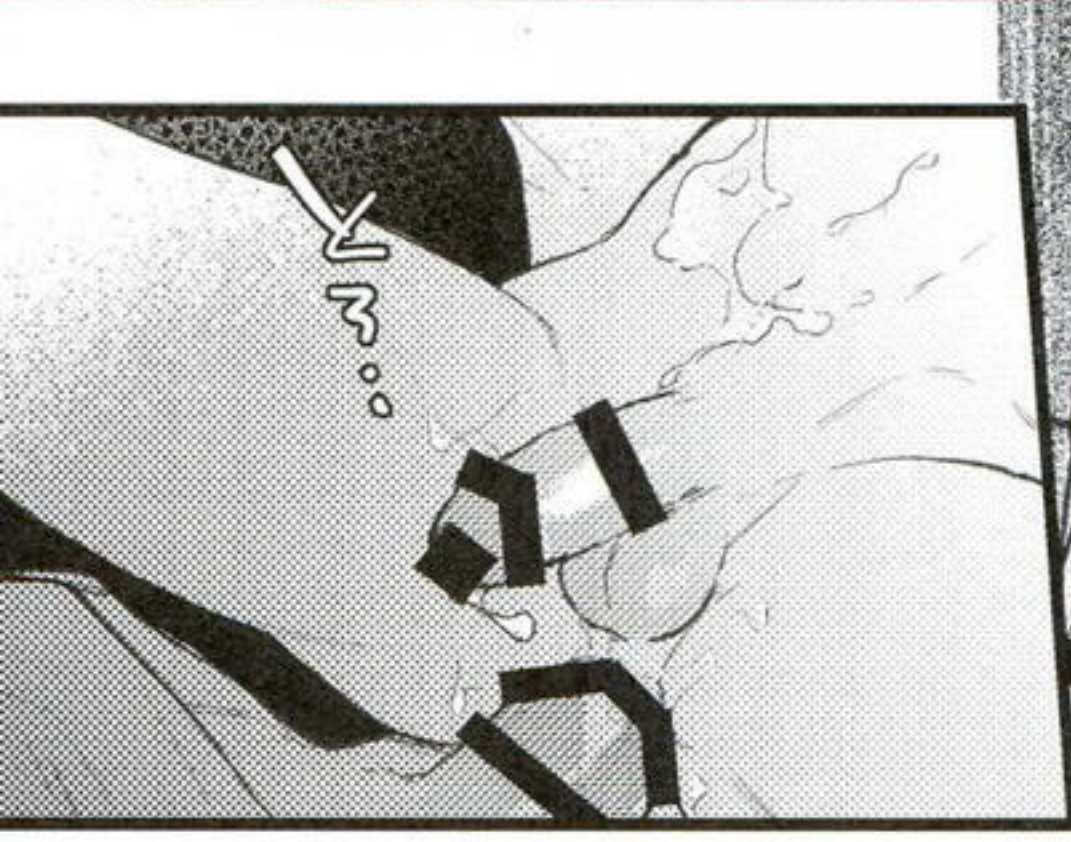
滑らかな肌











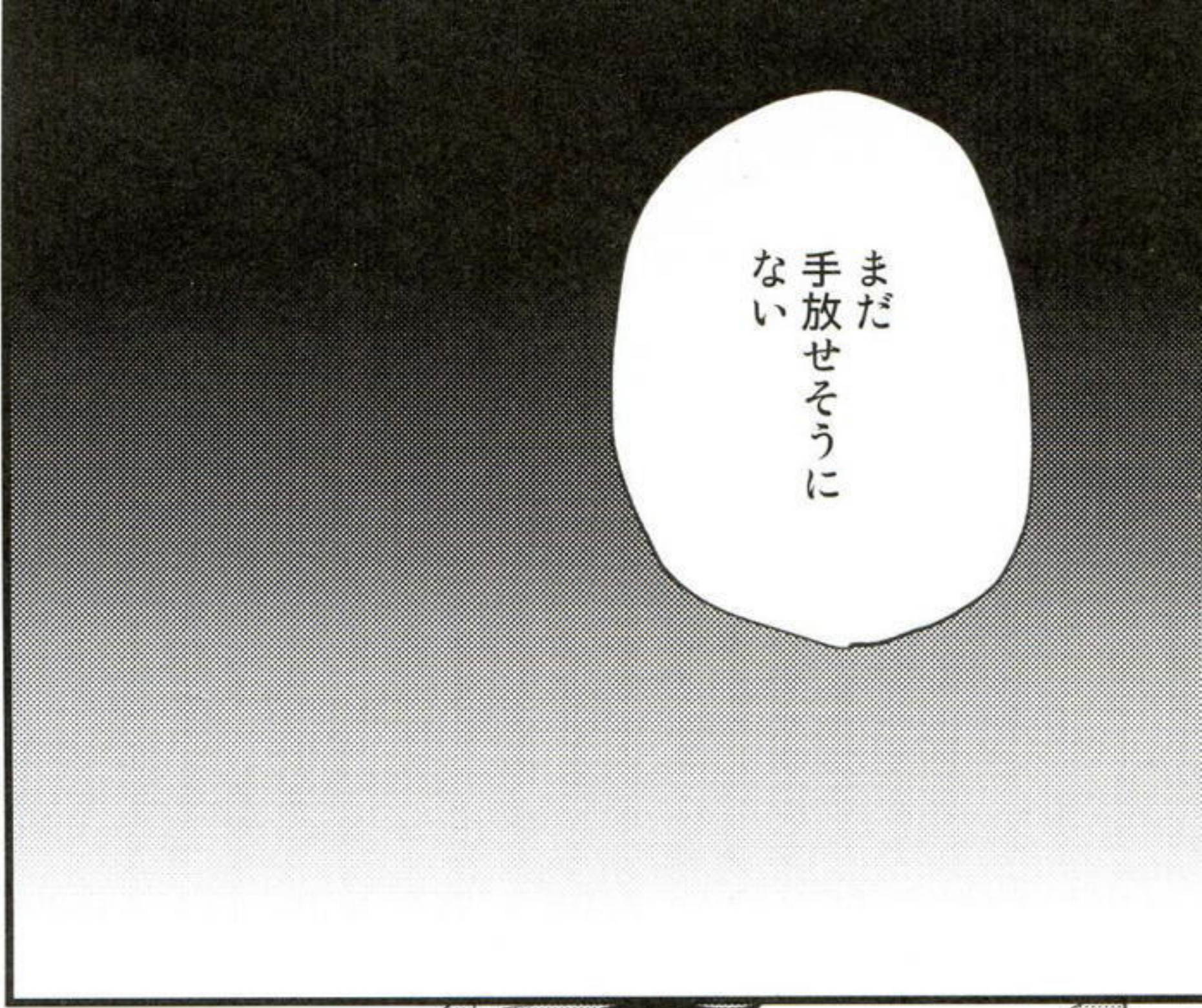
魘

すまない

は

は

は



まだ
手放せそうに
ない



…はい

わかりました



喰らわせてなど
やるものか



魔ですら

アトラス



……ああ

掬えて
よかった

魓が死んだら送儀の後
鍾離に魓の骨を一欠けら食べて欲しいなと
ずっと思っています

今回ほんとうに原稿をする時間がなくて
色々と端折ってしまったのですが
鍾離が夢をみていたそれは執着ではなくて
彼と一緒にこの時代を生きたいなっていう願いです
だからって食うな
魓は死に近いひとだと思うので
それは魓の天命だったりなんだったり色々な理由があるけど
鍾離は魓に死んでほしくないなっていう
情と願いのあらわれです
魓を縛りたくはないのでその気はないけど
魓のこと超かわいいから理性と本能とあれやそれがごちゃごちゃしている

すみませんここまでがこの本の本編です
時間がほしかった

ver3.4前につくったプロットなので色々な箇所は
多目にみてください
お読みくださりありがとうございました！

2023年2月12日発行

muzzle. まちこ



▲何かありましたら

Pixiv ■ <https://pixiv.me/muzzle>
Twitter ■ https://twitter.com/mc_gnsn
Mail ■ machi.kna8910@gmail.com

印刷所 : 大陽出版



21
グ
ラ
ム
の
晩
餐

*nijūichi-grammu
no banryō*

Genshin Impact
Unofficial Fanbook #08
Zhongli × Xiao
2023-02-12 muzzle.

